

平成22年度第1回射水市上下水道事業経営委員会議事録（要旨）

日 時：平成22年11月24日（水）

・午後1時30分～午後3時15分

場 所：射水市役所布目庁舎 3階301号室

- 議 事：1 上下水道事業の決算・予算の概要について  
 2 上下水道部の重要事項及び懸案事項について  
 3 平成22年度上半期の水需要について

【 意 見 】	【 市の考え方 】
【上下水道事業の経営健全化に関すること。】	
<p>政府資金に係る繰上償還が実施されたが、残債についても現在の利率状況を考慮するとまだ高すぎると思うが見解を伺いたい。</p>	<p>上下水道事業が地方債として借り入れる政府債は、償還期限が30年と長く、本来は償還途中での繰上償還は補償金が発生する。                      地方自治体の強い要望で、利率が5%以上の政府債は補償金免除で繰上償還が実施された。                      今後は、5%未満の政府債についても補償金免除で繰上償還できるように強く要望していきたい。</p>
【上水道事業に関すること。】	
<p>射水市の耐震化の考えと現在の状況について伺いたい。</p>	<p>射水市では口径100mm以上の管路を耐震管に布設替えをしており、21年度末現在での100mm以上の管路の耐震化率は72.8%となっている。                      また、基幹管路（口径300mm以上）においては、耐震化率77.1%と県内でも上位にあり、管路の耐震化は進んでいる状況にある。                      また、広上取水場更新事業は、平成21年、22年の継続事業で実施し、工事もほぼ完了している。最大限に活用できるよう受水協定の改善に向けて努力したい。                      鉛製給水管更新事業は、平成15年度から24年度で約18,000件を実施するもので、21年度末残件数は6,426件となり、市民の健康の面からも24年度までには全て更新する予定としている。</p>
<p>主要事業である広上取水場更新事業、鉛製給水管更新事業の状況について伺いたい。</p>	
【下水道事業に関すること。】	
<p>片口雨水ポンプ場整備において、近年多発する局地的な豪雨に対応できる時間雨量を想定したものとなっているのか。</p>	<p>近年、全国各地でゲリラ豪雨が観測されているが、当市の過去の実績に基づいた時間雨量を想定（10年降雨確立52mm/h）し、建設するものである。</p>
<p>神通川左岸流域について、ほぼ整備が完了したとあるが、接続率が低いのではないか。事業の健全経営のためにも接続率の向上に努められたい。</p>	<p>また、接続率については類似団体の状況からみても、90%以上が望ましいと認識しており、接続率の向上にむけて努力していきたい。</p>



【委員会】 No. 1



【委員会】 No. 2

